

「ユマニテ（人間性）／夢」

通信 NO.19 2020. 11
株式会社 ゆま空間設計
発行責任：加瀬澤文芳
〒264-0032 千葉市若葉区みつわ台5-4-14
TEL 043-253-8801 FAX 253-8806
Home Page <http://www.yumaku-kan.co.jp>
E-mail office@yumaku-kan.co.jp

久しぶりの便りをお届けします。この間コロナ禍で仕事の様子もすっかり変わってしまいました。身近にいるデザイナーは仕事がすべてテレワークになったといいます。会社が高価なパソコンを支給し、週一度のみ出勤して会議が終わればすぐ帰宅して在宅勤務だといいます。この業務形態はコロナが収束しても定着しそうです。当事務所もスタッフはテレワークで仕事することが多く、遠距離在住の建て主さんとの打合せもZOOMで対応しています。スマホで進行中の現場を映しながら、よその現場にいる監督と三者で打合せしたりしました。新しい仕事のやり方を柔軟に探りながら、進めているところです。ただ建築の仕事は高度な技術というよりローテクの積み重ねで、人々との触れ合いや経験がスキルとして蓄積されるものです。都合のよい使いまわしにならぬよう、スタッフができるだけクライアントとの打ち合わせや現場での対応に関わるよう心がけています。

画像は自宅裏に拡がる自分の山の木を使って古民家の再生をしたいという方の山の景色です。一緒に映る私の体と比べると伐りだした材木の大きさがわかります。次ページにて紹介しますが、再生した古民家は千葉県の建築文化賞を受賞しました。

加瀬澤



第24回千葉県建築文化賞受賞

多古町の古民家再生 菅澤 武兵衛邸

所在地：香取郡多古町
構造：木造平屋建て
床面積：184.88 m² (55.90坪)

築130年程の古民家の再生です。敷地周囲に所有している山の木を伐採製材し、建材として使って再生することがご希望でした。内外壁、床を製材した杉や桧で仕上げ、節のある材は下地に使いました。15帖、10帖、8帖の続き間はそのままにして、壁の漆喰を塗り直し木部を磨いただけで立派に蘇りました。玄関を和室前に小さく設え、土間だったところを日当たりの良いLDKにしました。中2階の床を取り払い吹き抜けとしたので、開放的で過ごしやすい部屋になりました。



LDK吹抜け



外観



LDK



和室 10帖



和室 15帖



和室 15帖

ご親戚の方々が集まられたとき、よくぞ和室をそのまま残してくれたと感謝されたそうです。古民家のポテンシャルは凄いです。



こなか保育園 新築工事

所在地 : 千葉県大網白里市

構造 : 木造平屋建て

床面積 : 169.39m² (51.24坪)

乳児室以外は大きなひと部屋の保育室とし、必要に応じて仕切られるようにしています。子どもの体に優しい自然素材で仕上げました。リズム運動や屋外保育を積極的に取り入れ、催しの時は保育室にたくさん的人が集まります。



開園記念発表会

保育室



グループホーム「たいよう」「ひまわり」 新築工事

所在地 : 千葉県千葉市

構造 : 木造2階建て

床面積 : 474.59m² (143.56坪)

1階と2階が別ユニットのグループホームです。
2階には半屋外の階段を上っていきます。居室は
東と南に向いて日当たり良く快適です。外観は東
に隣接する作業所から撮りました。



内部各所



外観

我孫子の家 新築工事

所在地 : 千葉県我孫子市

構造 : 木造2階建て

床面積 : 130.83 m² (39.57坪)

若いご夫婦とお子さんのご家族です。バリアフリーにすることと自然素材で仕上げることが条件でした。バリアフリーのプランニングは無駄をなくし、必要なスペースはゆとりをもって、それを直接つなげるという感覚でつくりました。自然素材で仕上げた部屋は、のびのびと優しくて気持ちの良い空間になりました。



玄関

玄関引戸を二枚引きとし、土間との段差を無くして車椅子でもスムーズに入ることができるようになりました。



外観



勉強コーナー



L D K

千葉市S邸 新築工事

所在地 : 千葉県千葉市

構造 : 木造2階建て

床面積 : 113.24 m² (34.25坪)

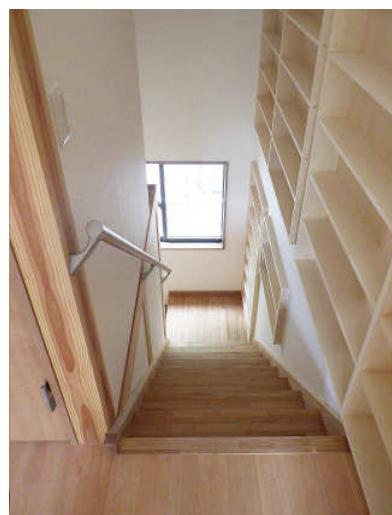
千葉市の住宅密集地に建つ家です。大学を退官されたご主人には膨大な書籍があり、できる限り書棚を設えてほしいというご希望でした。隣地の公園とは3mほど高低差があります。前面道路は狭い路地の突き当りで、途中から階段です。クレーンが入らないので建前は人力で持ち上げていました。新設した擁壁一杯に張り出したデッキが自慢です。



2階個室



リビング



階段



外観



デッキ

お年寄りや体の不自由な人のための住まいの改善



一バリアフリー改修で自立した暮らしの実現ー

車いすを使って生活する方の住宅改修です。これまで玄関ポーチと上がり框に段差があり、一人では出入りできませんでした。玄関土間をかさ上げして上がり框の段差をなくし、ポーチの部分に段差解消機を据えて床の高さまで一気に上がれるようになりました。扉は開け閉めしやすい2枚引き戸にしました。トイレは広くしてご本人専用の洗面台を備えました。これで一人での行動が可能になりました。大邦機電の段差解消機は安定感抜群でとても好評です。



改修前



トイレ改修後



改修後

編集後記

敷地や条件に特別の事情がある方の依頼が増えています。力量ある地域施工者と連携して難しい案件に挑戦していきます。最近自宅兼事務所をリノベーションしました。

(加瀬澤)

現在二人の息子を別々の保育園へ預けています。定員オーバーで残念ながら同じ保育園へ通うことができなかつたのですが、在宅での仕事が多いので、いい運動になっています。

(三谷)

